

君の名は。（聖地裏解説 3）



聖徳記念絵画館

しくみ

- 宮中三殿 - 聖徳記念絵画館 2.95km
- 宮中三殿 - 長府藩毛利家上屋敷 2.95km
- 宮中三殿 - 聖路加国際病院 2.95km
- 宮中三殿 - 大観音寺 2.95km
- 宮中三殿 - 春日局像 2.95km
- 宮中三殿 - 月桂寺 2.95km
- 宮中三殿 - 浄運寺 2.95km
- 宮中三殿 - 長善寺（笹寺） 2.95km

中心

宮中三殿賢所

宮中三殿は、皇居内にある三つの連結された建造物の総称である。それぞれ、神道の神を祀っており、宮中祭祀（皇室祭祀）の中心となる。宮中三殿の構内には、附属するいくつかの建造物が配置されている。四方拝、新嘗祭が行われる神嘉殿（しんかでん）、鎮魂祭や天皇皇后の装束への着替えが行われる綾綺殿（りょうきでん）、神樂が行われる神樂舎（かぐらしゃ）、楽師が雅楽を演奏する奏楽舎（そうがくしゃ）、列席者が待機する左幄舎（ひだりあくしゃ）と右幄舎（みぎあくしゃ）、賢所に正対する賢所正門、新嘉殿に正対する新嘉門などである。宮中三殿の祭祀は、明治維新から宮中祭祀の変遷と漸次的集約を経て、教部省が成立した直後の明治5年4月2日（1872年5月8日）に整ったと解されている。

賢所には皇祖神天照大神を祀る。その御霊代である神鏡（八咫鏡の複製）が奉斎されている。また「かしこどころ」と読んで神鏡そのものを指すこともある。古代より宮中で祭祀された。掌典及び内掌典が御用を奉り、「忌火」（「神聖な火」の意味）を護り続けるとされる。平安時代は温明殿（うんめいでん）、鎌倉時代以後は春興殿にあった。古代から続くという宮中祭祀が行われ、現在の皇后、皇太子妃など皇族の妃らを宮中に迎える結婚の儀もここで行われた。その際、后妃が賢所を退出した際に婚姻成立とみなされる。神聖な場所のため穢れを嫌い、「次清」の別などの厳格な規律があるという。

なお、宮中三殿のうち賢所は古代から宮中で奉斎されてきましたが、皇霊殿と神殿は、明治維新以降の宮中祭祀制度の再編成によって新たに宮中に遷座・奉斎されたものです。 祇を、西の座に歴代天皇の皇霊がそれぞれ奉斎され、鎮座祭が斎行されました。東京都千代田区千代田1-1



同距離

聖徳記念絵画館

神宮外苑の中心的な建物で、幕末から明治時代までの明治天皇の生涯の事績を描いた歴史的・文化的にも貴重な絵画を展示している。 維持管理は宗教法人明治神宮の予算で賄われており、他からの援助は一切受けていない。警察官により常に厳重に警備されている。明治天皇崩御後に建築計画が持ち上がり、大喪の礼が行われた旧青山練兵場の葬場殿跡地に1926年（大正15年）に建設された。そもそも明治神宮外苑の造営の主たる目的でもある建物である。現在でも、建築当初のままのドーム状の荘厳な建物を見ることができる。東京都新宿区霞ヶ丘町1-1-1



長府藩毛利家上屋敷

長門長府藩主（長州藩毛利氏の分家）だった毛利綱元の麻布上屋敷の跡地である。

慶安3年（1650年）に、初代長府藩主毛利秀元（秀元は文禄4年（1595年）に甲斐守となっていた）が上屋敷として設けた。

毛利綱元が長府藩主であった元禄15年（1702年）、赤穂事件が起こり、吉良義央邸に討ち入った赤穂浪士の岡嶋八十右衛門ら10人がお預けになり、



幕府の沙汰を待った。元禄 16 年（1703 年）2 月 4 日同屋敷で切腹した。

享保 3 年（1718 年）3 月、第 5 代藩主であった毛利元矩が亡くなったために長府藩は一时无嗣断絶となるも、同年 4 月に清末藩主の毛利匡広による長府藩名跡相続により再興された。

嘉永 12 年（1849 年）、のちに陸軍大将となる乃木希典が藩邸の侍屋敷で生まれ、幼年期を過ごした。幕末には、禁門の変や長州征伐に対する幕府からの仕置きとして、長州藩・清末藩・徳山藩と共に江戸藩邸を没収された。

明治 20 年（1887 年）、増島六一郎が取得して自邸とし、庭園を“芳暉園”と名付ける。

大正 8 年（1919 年）4 月、“乃木大将誕生地”として、旧跡（現東京都旧跡）に指定される。

昭和 18 年（1943 年）3 月、“毛利甲斐守邸跡”として、旧跡に指定される。

昭和 27 年（1952 年）、ニッカウキスキーが買収。同社東京工場となる。その後は、東映が買収し撮影所として所有され、昭和 52 年（1977 年）、テレビ朝日（当時の NET）が東映から譲り受けて同社の敷地となると同時に、東映はテレビ朝日の筆頭株主となる。再開発により建設された六本木ヒルズが平成 15 年（2003 年）4 月にオープン。同ビルの日本庭園が毛利庭園と名付けられる。

東京都港区六本木 6 丁目 9

聖路加（ルカ）国際病院

事業主体は、学校法人聖路加国際大学。東京都心部では最もよく知られる病院のひとつである。

1902 年（明治 35 年）に設立され、戦前の旧病棟の建設にあたっては多額の資金を下賜されるなど、皇室との関係もあった。名誉院長にはメディア出演や本の出版などで知られる日野原重明が就任しているほか、「医療社会事業科」が設置されて医療ソーシャルワーカーが常駐している。関連組織として、公益財団法人聖ルカ・ライフサイエンス研究所を併設している。いわゆる「病院ランキング」などでは、しばしば上位に評価されるほか、研修医の初期臨床研修施設としても知られ、虎の門病院など並んで日本で最も医学生の人気の高い研修先のひとつとなっている。新病院は 1992 年の竣工で、アメリカ合衆国のユタ州ソルトレイクシティにあるセントマークス病院（1973 年）をモデルに日建設計によって設計された。病室は患者のプライバシーへの配慮と感染防御の観点から、小児病棟、緩和ケア病棟、集中治療室を除いた病床のすべてが個室となっている。

東京都中央区明石町 9-1



出世稲荷

新宿出世稲荷神社は、1457年に江戸城主の太田道灌が、家臣である粟津民部豊重と同じ稲荷大明神の霊夢を見て、「郭向の岡」と呼ばれていた場所に勧請したのが始まりと言われていています。1526年に「遠山の金さん」こと、遠山左衛門尉直影が現在の場所に遷座したとされています。徳川五代将軍綱吉の生母である桂昌院がこの神社を篤く崇敬したそうで、たびたび相撲などの興業も行われ、周辺もかなり賑わったようです。1873年（明治6年）に、それまで「粟津稲荷」「朝日稲荷」と呼ばれていたのを「出世稲荷神社」と名を改めました。

東京都新宿区四谷 4 丁目-1



長善寺（笹寺）

甲斐国（現在の山梨県）の戦国大名・武田信玄の家臣であった高坂昌信が天正3年（1575年）に建てた庵を起源とするが、開山の隣学は寛永9年（1632年）に没していることから、それまでには寺院として成立していたものと思われる。以上のことから同寺は、江戸幕府により寛永11年（1634年）以降に四谷の地に寺院が多く移る前から、同地に開かれていた寺院というこ



とになる。長善寺は別名笹寺とも呼ばれ、これは二代将軍の徳川秀忠ないしは三代将軍徳川家光のどちらかが名づけたとも言われているが、確証はない。いずれにしても境内に笹が繁っていたことに由来するという見方が有力である。

本尊の釈迦如来像は元禄年間の作で、寺宝となっている「めのう観音」（新宿区指定文化財）は徳川秀忠の念持仏であったとも伝わる。

東京都新宿区四谷4丁目4

浄運寺

浄土宗寺院の浄運寺は、増光山摂護院と号します。浄運寺は、信蓮社念譽龍把和尚（寛永5年1628年寂）が開山となり、麴町清水谷に元和5年（1619）創建、江戸城外堀建造に伴い寛永11年（1634）当地へ移転したといひます。当寺本尊の聖観世音菩薩像は慈覚大師の作と伝えられ、山の手三十三観音霊場23番、東都三十三所観音の十七番となっており、参詣者も多く当寺前を浄運寺横町と呼ばれるほど著名だったといひます。



全長寺

曹洞宗寺院の全長寺は、泰翁山と号します。全長寺は、本山全勝寺3世鈞巖覺鯢和尚（寛永16年1639年寂）が、慶長7年（1602）麴町1丁目に創建、外堀建造に伴い寛永11年（1624）当地へ移転したといひます。

東京都新宿区愛住町



月桂寺

創建は、寛永9年（1632年）、市ヶ谷に関叔碩三座原によって建てられた庵が基になっている。その後、同庵は当地に移転し、円桂山平安寺となった。その後、小弓公方家・足利頼純の娘で、豊臣秀吉や徳川家康などに仕えた月桂院の篤い帰依を受けた。月桂院からは100石の朱印地を受け、また明暦元年（1655年）に彼女が死去した際には同寺で葬儀が行われ、寺号も正覚山月桂寺と改めたとされている。また同寺には、月桂院が奉納した「厄除御安産諸願成就の宝玉」（通称:安産宝珠）が寺宝として伝わる。それに因み、月桂寺は安産祈願などの寺としても知られる。江戸時代には臨濟宗の関東十刹の一つに数えられる格式ある寺院になった。また、同寺は江戸幕府第5代将軍徳川綱吉の側用人・柳沢吉保からも篤い帰依を受け、吉保嫡男の柳沢吉里や吉保側室の正親町町子の墓がある。東京都新宿区河田町2-5



大観音寺

東京人形町の大観音寺（おおかんのんじ）は、鎌倉の「鉄ノ井」から発見された鉄観音像を本尊としている。鉄観音像は、明治の神仏分離令によって東京深川の御船蔵前に移され、1876年（明治9年）、この地の仮堂に安置された。これが大観音寺のはじまりといわれている。現在の大観音寺は、1942年（昭和17年）の建立。1932年（昭和7年）、天台宗から聖観音宗に改宗。

東京都中央区日本橋人形町1丁目18-9



春日局像

文京区と春日局

文京区「春日」の地名は春日局が乳母として仕えた三代将軍徳川家光より拝領した土地に由来し昔は春日殿町とよばれていました。また春日局の菩提寺麟祥院が湯島にあり文京区は春日局と歴史的に深い縁があります。昭和64年（1989）1月より1年間NHK大河ドラマ「春日局」が放映されました。文京区ではこれを契機として「文京区春日局推進協議会」を設立し区民の皆様と共に区内の活性化、地域の振興を図ることを目的として主事の事業を推進しました。ここに本地業を記念して春日局像を建立することにいたしました。

東京都文京区春日1丁目-15



備考

「君の名は。」のアニメ聖地を紹介するサイトを見ていたら、神宮外苑のカットが気になった。いかにも古いシンメトリーな洋館。調べてみたら、明治天皇の活躍ぶりを紹介する絵画館だった。明治天皇は、東京奠都の際に暗殺され、長州出身（山口県田布施）の南朝末裔の大室寅之祐にすりかえられたとされる。宮中三殿を中心に同距離を探ると、まず長州藩とともに藩邸を没収された毛利家とつながった。そして、「よど号」ハイジャック事件やオウムサリン事件の関与、石橋湛山首相の暗殺疑惑などが噂される故日野原重明氏の聖路加国際病院。ここは幸福の科学ともつながっている。中国風水学を用いて江戸城や神社を配置した太田道灌の出世稲荷。そしていくつもの古い寺院ともつながる。大観音寺は明治9年に移されている。おそらく宮中三殿の守りとして利用された古い寺社や毛利邸の同距離円上に、大観音寺も移動させたのが始まりで、その後聖ルカ病院や聖徳記念絵画館が建てられたのだろう。次項では聖徳記念絵画館を中心に宮中三殿と同距離を探ってみた。



しくみ

- 聖徳記念絵画館 - 宮中三殿 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - 靖国神社神門 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - 特攻勇士の像 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - 天理教日総分教会 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - 新宿十二社熊野神社 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - ベトナム大使館 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - ニュージーランド大使館 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - ペルー共和国大使館 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - 末日聖徒イエス・キリスト教会日本東京神殿 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - マダガスカル共和国大使館 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - スロバキア共和国大使館 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - 霊友会釈迦殿 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - 文化庁 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - 財務省 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - 外務省 2.95km
- 聖徳記念絵画館 - 国土交通省 2.95km



靖国神社神門

1934年(昭和9年)に完成した、総ヒノキ造りの門です。また、この場所での集合写真の記念撮影が、一番の撮影スポットとされています。高さ6メートルの扉に、直径1.5メートルの菊の御紋章がそびえています。

靖国神社

祭神は、幕末から明治維新にかけて功のあった志士に始まり、1853年(嘉永6年)のペリー来航(所謂「黒船来航」)以降の日本の国内外の事変・



戦争等、国事に殉じた軍人、軍属等の戦没者を「英霊」と称して祀り、その柱数（柱（はしら）は神を数える単位）は2004年（平成16年）10月17日現在で計246万6532柱にも及ぶ。

1865年、長州藩が奇兵隊の死者を祀るために建立した桜山招魂社が、靖国神社の起源である。その後、禁門の変、戊辰戦争などで戦死した長州軍の兵を合祀。明治維新後、明治天皇の上京にともない、天皇の錦の御旗が与えられることで、官幣の神社として靖国神社が設立された。

以上の経緯を踏まえると、靖国神社は、明治維新以降、実権を握った長州閥の意向が色濃く反映された神社だと言える。事実、会津藩家老を先祖に持つ右翼の大物・田中清玄は、靖国神社を「長州藩の守り神にすぎないもの」と切り捨てたという。

東北地方は、仙台第二師団のガ島玉砕、第36師団（雪部隊）のニューギニア玉砕はじめ、戦没者の多い地域だが、「靖国神社に参拝すべきだ」とする意見には異を唱える人が多い。「朝敵は弔わず」、これは賊軍に対する明治政府の一貫した姿勢だった。東北(奥羽列藩同盟)の犠牲者をはじめ、彰義隊、西南の役、西郷隆盛側などは、靖国はもちろん、日本各地の招魂社(護国神社)にも祀ることはなかった。

そして、薩長中心による富国強兵政策の一貫としての軍事強化推進が、その後の日清・日露・大東亜戦争につながったと見るのが自然だし、靖国はその精神的支柱として存在した。今なお、“明治政府(官軍側)は素晴らしかったと絶対視”し、賊軍とされた地域のインフラ整備の後回しなど、東北蔑視政策が続くかぎり、多くの東北人が心から靖国神社を参拝する気持ちにはならないだろう。

そこには、薩長が天皇を人質同然にした当時の、「天皇陛下＝靖国神社だ。文句あるか」という、天皇の威光を利用するだけ利用した空気が流れている。それに比して、京都守護職を務めた会津藩主・松平保容は、孝明天皇から辰翰を賜り、正に官軍だった。明治26年12月5日松平保容公死後、辰翰の事実を知った明治政府は、この内容が公になれば、自分達が嘘で固めた歴史観が根底から覆えるとあわてた。

そして、明治政府は密かに大金で譲渡するように圧力をかけたが、会津藩・松平家はこれを頑強に拒否した。何度でも繰り返すが会津藩側が官軍、薩長土肥(明治政府)側が賊軍だったのだ。

それに薩長や岩倉具視らの戦略による錦旗の偽造や、孝明天皇の毒殺説も有力だ。これが薩長は「偽(にせ)官軍」と言われる理由であり、偽(にせ)官軍が天皇陛下の威光を利用するために作ったのが「靖国神社」という図式になる。

日本を再び戦争をする国家にさせようと企む人達にとっては「国のために命を捨てさせる」ための装置としてこの神社は象徴的な大きな意味をもつものなのでしょう。

<http://z-shibuya.cocolog-nifty.com/blog/2010/08/post-e1bb.html>

千代田区九段北3丁目1-1

特攻勇士の像

特攻勇士の像（または特攻勇士之像。とっこうゆうしのぞう）は、公益財団法人特攻隊戦没者慰霊顕彰会（東京都千代田区九段北3-1-1 靖国神社遊就館内）によって、大東亜戦争末期に航空特攻（神風特別攻撃隊等）、水中特攻（回天等）、海上特攻（震洋等）、水中特攻（海竜等）などの特別攻撃隊隊員として戦死した若き特攻隊戦没者に対する慰霊のために制作されたブロンズ像である。2007年4月に鹿児島県護国神社に最初の像が建立されたが、以降靖国神社、全国護国神社及び地元住民の協力を得て、全国52の護国神社に像を建立していくことになっている。

東京都千代田区九段北3丁目1-2



天理教日総分教会

日本で江戸時代末に成立した新宗教の一つ。中山みきを教祖とする宗教団体である。狭義には奈良県天理市に本拠地を置く包括宗教法人（宗教法人天理教）およびその傘下の被包括宗教法人（教会本部及び一般教会）を指すが、広義には中山みきが伝えた教義そのものを指す場合があり、信仰する単立の宗教法人もある。本稿では、狭義の天理教を中心に述べる。

東京都新宿区大久保2丁目17-36



新宿十二社熊野神社

新宿総鎮守として知られている。当神社は中野長者と呼ばれた室町時代の紀州出身の商人・鈴木九郎によって応永年間（1394年 - 1428年）に創建されたものと伝えられている。（天文・永禄年間に当地の開拓を行った渡辺興兵衛という人物が祀ったという異説もあり）鈴木九郎は代々熊野神社の神官を務めた鈴木氏の末裔で、現在の中野坂上から西新宿一帯の開拓や馬の売買などで財を成し、人々から「中野長者」と呼ばれていた。鈴木九郎は当初自身のふるさとである熊野三山の若一王子を祀ったところ、商売が成功し家運が上昇したので後に熊野三山から十二所権現をすべて祀るようになったのが始まりとされている。かつて存在した付近の地名「十二社」（じゅうにそう）はこれに因んでいる。この地名は現在でも通り（十二社通り）や温泉（新宿十二社温泉）の名などに見られる。

神社境内には大きな滝があり、また隣接して十二社池と呼ばれていた大小ふたつの池があり、江戸時代には付近は江戸近郊の景勝地として知られていた。江戸時代には熊野十二所権現社と呼ばれていた。江戸時代あたりから付近には茶屋や料亭などが立ち並びやがて花街となっていった。最盛期には茶屋や料亭が約100軒も並んでいたという。この賑わいは戦前まで続いていた。

その後明治時代に入り名が熊野神社となり、その後神社の滝や十二社池は淀橋浄水場の造成や付近の開拓により姿を消し景勝地としての様相は徐々に見られなくなっていった。

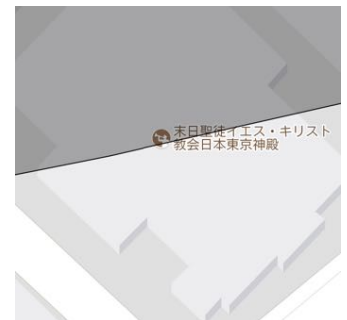
東京都新宿区西新宿2丁目11-2



末日聖徒イエス・キリスト教会日本東京神殿（モルモン教）

日本の末日聖徒イエス・キリスト教会とは、20世紀初頭にアメリカ合衆国ユタ州ソルトレークシティから日本に伝わり、全国へ広がった日本国内におけるモルモン教の事である。日本にモルモン教が伝わったばかりの頃、宣教師のほとんどは英語圏から派遣されていたが、今日では、日本人をはじめとする、様々な国籍の宣教師も活動している。現在、日本には10万人を超える数のモルモン教徒がいる。集会所は300近い数がある。

東京都港区南麻布5丁目8-10



霊友会釈迦殿

法華系の新宗教である。国内信者数は、1,340,703人とされている。1920年（大正9年）創立者の久保角太郎は西田無学の思想と行法を知り、それをきっかけとして本格的な法華経研究と在家による実践方法の模索に入る。1924年 若月チセラと第一次「霊友会（南千住霊友会）」結成するが、若月らに菩薩行としての趣旨が理解されず、その後袂を分かつた。



1927年 兄夫婦の小谷安吉・小谷喜美らとともに「赤坂霊友会」として活動を開始。
 1930年 小谷喜美を名誉会長とし、貴族院議員・永山武敏男爵を会長に迎え久保を理事長として「霊友会」として発会式を行う。永山は三ヶ月で辞任し、小谷喜美が会長に復帰する。「在家による法華経の菩薩行を實踐する団体」として発展。
 1936年 九条日浄を総裁に迎える。弾圧への配慮のためである。
 1944年 久保角太郎他界。その後、小谷喜美を中心に戦後大きく教勢を伸ばしていくが、多くの分派を生むに至る。
 1949年 教団本部がGHQの捜索を受け、金塊とコカインが押収される。翌年には小谷喜美が脱税の容疑で捜査を受け、麻薬所持で摘発。この後普明会教団と妙智会教団、佛所護念会教団が分派していく。
 1952年 宗教法人法による宗教法人となる。
 1953年 小谷喜美が赤い羽根共同募金110万円の横領、闇ドル入手、贈賄などの容疑で検挙。顧問弁護士木村篤太郎らの尽力で釈放。この闇ドル入手には、聖イグナチオ教会会計係の神父が関係していた。
 1971年2月小谷喜美死去後、久保角太郎の子息である久保継成が会長に就任。「インナートリップ」を提唱し若者をターゲットとした布教方針を掲げた。
 1993年久保継成は集団合議制を確立する為に会長職を辞任、理事長に就任。
 1993年 霊友会本部 積迦殿(東京都港区麻布台)で行われている月例行事「在家のつどい」に久保継成が登壇。久保継成は自身が会長職に復帰する旨の宣言を一方的に発表する。これにより、久保継成、及び、久保が会長職への復帰を支持する幹部・役員・会員と、その他の霊友会幹部・役員・会員との内紛状態に入る。以降、久保継成及び久保を支持するグループによる霊友会本部、及び、関連施設への立ち入りが出来なくなる。
 1996年濱口八重が後継会長に就任。久保継成は、久保継成を支持する第七支部の松本廣を中心とした独自の別グループを形成し、団体名称「Inner Trip REIYUKAI International」という国際団体として活動を開始。2000年5月18日 - 濱口八重会長死去により大形市太郎が会長に就任。
 2003年 久保継成は、新団体「在家仏教こころの会」を設立し、以降、分派団体としての活動を行う。
 2013年大形市太郎会長死去により末吉将嗣が会長に就任。

東京都港区麻布台 1 丁目 7-8

ベトナム大使館

東京都渋谷区元代々木町 5 0-1 1



ニュージーランド大使館

東京都渋谷区神山町 2 0-4 0



ペルー共和国大使館

東京都渋谷区広尾 2 丁目 3



マダガスカル共和国大使館

東京都港区元麻布 2 丁目 3-25



スロバキア共和国大使館

東京都港区元麻布 2 丁目 1 1-3 3



文化庁

東京都千代田区霞が関 3 丁目 2-2-

財務省

東京都千代田区霞が関 3 丁目 1-1

外務省

東京都千代田区霞が関2丁目2-1

国土交通省

東京都千代田区霞が関2丁目1-3



備考

ユダヤの諜報機関と噂されるモルモン教の東京神殿とつながった。ただ、日本での宣教活動の歴史が不明だ。いつからここを拠点にしていたのか。熊野神社と霊友会、宮中三殿あたりが始まりの三角か。靖国神社にも神門を建ててつながられた。門も大切な聖地になる。面白いのは五つの大使館とつながり四つの省庁ともつながる。近頃、建立されている特攻勇士の像まできちんとつながる。聖徳記念絵画館に集まった気や念を前項の宮中三殿をとりまくサークルの作用により皇居に気が流れていくことになるのだろう。信仰宗教は宗派に関係なく、すべて皇居につながっている。数え切れないいくつものこれら「しくみ」により、皇居にはものすごい気が全国から集中している。